

# かっぱ通信

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.cococan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2019年12月22日

vol. 130

暖冬、やっと  
紅葉終盤号

## 祝 かっぱの楽校 生き物講座 第100回



### 雪虫 みたことありますか？

12月6日晴れ、ベランダにいと、白くて小さなものが二つ、ふわふわと目の前を横切っていました。?? 手で包み込むように取ってみるとなんと雪虫です。東京にもいるのかとびっくり。妻に話すと既に立川方面で見えていました… 調べてみると、特に有名なのは北海道や東北ですが、大阪や九州でも確認されているようです。北海道では今秋 100 年に一度規模の大発生となり、吹雪の様な写真が出ていました。

'雪虫'とは、晩秋、雪が降る前頃に多く見られることから…

何かロマンチックな喩えですが、一般的に雪虫と呼ばれている虫は、実は農家に作物の害虫として嫌われているカメムシ目のアブラムシ科の仲間で、白いろ状の物質を分泌し、ワタのように身にまとって飛んでいる虫の総称なのです。

アブラムシの仲間は、メスだけで増えたり、時期や状況によって翅を持つ個体が生まれたりと複雑な生態を持ちます。中でも、雪虫と称

される仲間は、秋に産卵越冬する時に棲む場所(樹木)を変えるため、ろう状物質をまとって飛翔します。これが雪のように見えるわけです。

風に逆らえず、ふわふわ弱弱しく飛んでいる雪虫…非常に繊細で、そつと摘まんでもつぶれて死んでしまいます。雪に例えられる白い部分も、'ろう状'言われるだけに触るとべちゃとつぶれて戻りません。北海道での体験ですが、車の前面にぶつかって張り付いていたたくさんの雪虫の死骸は、放置濡れ雑巾の様な臭いがしました。

本号が出る頃でも、その気で注意していればまだ見られるかなあ。〈康〉

おかげ様で、3人リレー連載「生き物講座」が連載100回目を迎えられました

## 報告 今年の外来生物捕獲結果

北川かっぱの会では、2013年4月より北山公園しょうちゃん池とその周辺で、在来生物の脅威となっている外来生物の捕獲を行っています。今年の捕獲数は最終的に表のとおりとなり、ウシガエル(成体)53、ウシガエル(幼生)1137、アメリカザリガニ784を捕獲しました。

7年間の推移を見ると、北山公園界限では、アカミミガメやクサガメの北山公園周辺におけるウシガエル等の捕獲状況 単位:個体数 2019/12/8

年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
アカミミガメ	9	11	4	2	5	3	0
クサガメ(再捕獲を含む)	13	10	8	1	5	2	0
ウシガエル(成体)	2	1	3	42	106	44	53
ウシガエル(幼生)	10	24	約550	192	86	282	1137
アメリカザリガニ	99	126	約550	約760	1127	354	784

姿はほぼ見かけられなくなりましたが、最近では大量のウシガエルが捕獲され、特に今年は幼生(オタマジャクシ)の捕獲数が1000を超えました(表に掲載以外でキバラガメ1も捕獲)。活動の成果かもしれませんが、一昨年以降「ウシガエルの鳴き声が少なくなった」、「多くのトウキョウダルマガエルの姿を見かけるようになった」などの声が届くようになっています。10月20日の北川クリーンアップ終了後には外来生物慰霊祭を開催し、捕獲した外来生物の霊を慰めました。慰霊祭で改めて感じたことは、個々の外来生物が悪いのではなく、人間の勝手な所業により外来生物が放たれ、多くの在来生物が脅かされ、里山の生物多様性や景観に大きな悪影響を与えているということです。北川かっぱの会では、来年以降も在来生物の生息環境の改善と外来生物の捕獲に取り組んでいきますので、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願いします。

# 報告 北川クリーンアップと外来生物慰霊祭

10月20日(日)、北川クリーンアップが開催されました。(主催;北川クリーンアップ実行委員会、共催;東村山市)穏やかなお天気の中、総勢40名程の参加者が集いました。

川に入ってゴミを拾っていると、目の前で小魚がはねたり、川面が風にキラキラと輝いたり…。童心に戻る瞬間があります。そんな時間が楽しく、時々川掃除に参加しています。

今回もニシキゴイや特定外来生物オオフサモが確認されました。外来生物を絶対に川に捨てないように、お願い致します。在来魚が泳ぎ、子ども達が生き生きと遊ぶ北川になりますように…。

クリーンアップ終了後、北川かっぱの会で今年の外来生物慰霊祭を開催しました。会のメンバーや市役所関係者の方などが線香を供え手を合わせました。ご参加頂いた市民の皆さん、市役所の皆さん、お疲れ様でした。(藤)



## 2019年12月～2010年3月活動スケジュール

**ホ**は **ホ**ランティア募集、**会**は会員のみ  
の略  
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)  
または直接会員にお知らせください



### 定例川そうじ

3月以降の毎月第2土曜 9-11時

3/14(土) **ホ**集合:北山小正門前

### 川端会議 2/15(土)10-12時

市民センター。北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

### 小学校土曜講座 **会**

富士見・南台小 **野鳥観察**

1/18(土)中央公園と空堀川

2/1(土)八国山と北山公園

ともに雨天中止

**野鳥観察会**(みどりの楽校+八国山たいげんの里)

2/22(土)AM 詳細は近く市報で発表予定

### 北川かっぱの会 定例会

1/18(土) 16:00-17:30

### サンパルネ3階

2020年の活動方針、4月頃までの活動の詳細などについて検討。終了後、有志で新年会を開催予定。

### 總會

3/7(土) 16:00~18:30開催予定

### 多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

1/5 (第1日曜) 9:00~

1/15 (第3水曜) 13:30~

1/18 (第3土曜) 13:30~

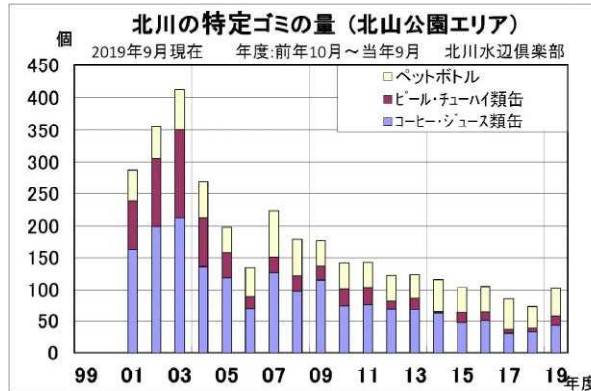
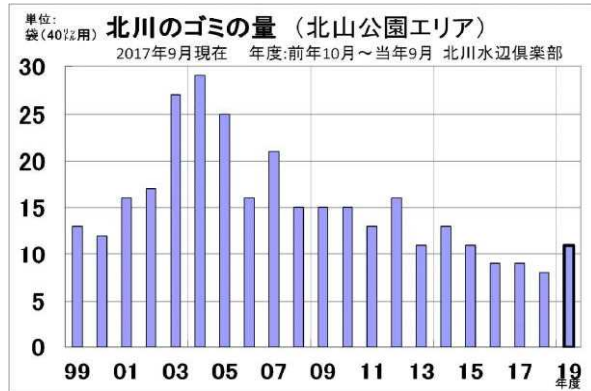
畑こて維持管理作業と収穫と落葉かき

## 報告 今年の定例川そうじの結果

北川かっぱの会では、毎月第2土曜日の午前中に「定例川そうじ」を実施しています（北山小前～西武園線鉄橋下）。川そうじで収集したゴミについて仕分けを行い、そのゴミの量の計測を行っていますが、このほど2019年度の調査結果（毎年10月～9月）がまとまりました（データは松村さん提供）。

ゴミの総量は平成16年度をピークに減少しているものの、ここ何年かは大幅に減少するような傾向にはなく、今年度は過去3年間と比較し増加しています。また、ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数は、最も多かった平成15年度と比較し減少していますが、今年度は過去2年間と比較して増加し、4～5年前の水準に戻ってしまいました。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 報告 北山小「魚クラブ」を支援

10月28日、北山小で5、6年生が対象の「魚クラブ」の授業を支援しました。当日は18名の児童を対象に、まず北川や北山公園で捕獲したモツゴやウシガエル（教室に持ち込んだ成体は元気に飛び跳ねていた）などについて観察してもらいました。

その後、北川の22年間の魚の変遷の資料を基に、①昔も今も見ることのできる魚、②昔はいなかったが今は見ることのできる魚、③昔はいたが今は見ることのできない魚を子どもたちに分類してもらい、なぜ②や③の魚がいるのかなどについて考えてもらいました。

児童からは様々な質問が寄せられていましたが、上記資料に加え、魚の大きさや貴重な魚などについて解説をし、最後に外来生物の問題点について話をしました。北川魚クラブでは、当日の話を参考として学習の成果をまとめ全校向けに発表することでしたが、その発表内容が楽しみです。

## 東村山の方言の中のいきものたち

### 第四回「まんじゅう虫」

今回は「まんじゅう虫」。これは大人気の昆虫「カブトムシの幼虫」のこと。私も幼い頃、神社や公園で成虫を捕まえたり、農家の方から「まんじゅう虫」をもらい育てました。当時のお年寄りたちは、大事な腐葉土の中にたくさんいるため、ちょっとした害虫くらいに思っており、この白くて柔らかい虫が黒くて精悍なカブトムシになるとは思っていなかったようで、たくさんもらって喜んでる僕を驚きながら見ていたのが思い出されます。

さてこの「まんじゅう虫」、この地域ならではのネーミングなのでは？とも考えています。通常まんじゅうというふっくらとした小ぶりなものを思い浮かべるのではないのでしょうか？実は東村山には武蔵野うどんや焼きだんごと並んで「ゆでまんじゅう」という郷土食があります。うどんやだんごと比べお店ではあまり見かけませんが、私も祖母や近所の方にいただいたことがある素朴な甘さのおやつです。このゆでまんじゅう、普通のまんじゅうと比較すると、少し平たく気持ち大きめ。ゆでたての生地もプリッとつややかで中のあるこがうっすら透けており、まさにカブトムシの幼虫にそっくりなのです。幼い頃初めて「まんじゅう虫」という言葉を聞いた時、まず頭に浮かんだのはこの「ゆでまんじゅう」でした。

近年カブトムシの幼虫を模したスイーツが話題になったことがありましたが、東村山では昔からおやつと結びつけられていたかと思うと面白いですね。（じんだんぼ）



## 報告 市主催東村山市環境フェアに出展(2019)



11月12日から17日まで、中央公民館でおこなわれた「東村山市環境フェア」(主催:東村山市環境・住宅課)に、昨年に引き続き参加しました。環境フェアは中央公民館1階の展示室で開催され、市内の環境系のNPOや市役所の関係各課による環境に関する取り組みの紹介をおこなっています。かっぱの会としては

昨年まとめた「北川かっぱの会について」「北山と北川の由来」「外来生物とは?」などのパネルに加えて、「北山公園のカエル」「北山の水生生物」を作成し出展しました。恒例の東村山エナジーによる自転車自家発電体験や空堀川に清流を取戻す会による水槽展示はもちろん、市内各小学校の生徒たちが描いた環境ポスター展や東京ガス主催の工作教室「ガス管を使った風車作り」なども目を引いていました。(じんだんぼ)

### 報告 南台・富士見小土曜講座=自然と遊ぼう「北川へいこう」

参加者は、児童6、保護者2、講師3、アシスタント/コーディネーター4の計15名、しょうちゃん池などでの外来種駆除作業の見学と、北川で魚採りをしました。

外来種捕獲用に設置してある'かご網'には、ウシガエルやアメリカザリガニの他、在来種の大きなナマズが入ってびっくり! 北川では、気分はカワセミか? 一所懸命にガサガサして、みんな獲物を得てうれしそうでした。捕れた魚達は水槽に入れて、名前調べをしました。お昼休みに、外来種(生き物)を'駆除=殺す'ことについて、自己満足



ながら、できれば無駄死に? させたくない思いは常にあることを知ってほしくて、希望者に水道水で飼育、塩茹でされたアメリカザリガニを試食してもらい、'命'をありがたくいただきました。(康)

### 報告 北山小土曜講座

#### ヤゴいかだづくり

10/12は残念ながら雨が上がりず

子どもが参加するトンボ捕りは中止にしました。同時に行う、ヤゴいかだ作りはトンボの産卵床作りなので止めるわけにはいきません。かっぱスタッフ4名でいかだ作りと補修を行いました。いかだの上に置く麦わらは今年度から学校田が無くなりその調達ができないと危ぶまれましたが、プール横の倉庫にあと3回分はある在庫の山を発見。イカダにワラをのせ浮島（写真）を作りました。（遊）



## 報告 北山小

### 総合的学習の発表会

11月27日、北山小4年生の北川をテーマとした総合的学習の発表会に参加しました。

北川かっぱの会では4年生の総合的学習の授業について、5月に水質調査、6月に北川や北山公園での魚捕りと生き物観察の支援を行いました。その後、各児童が発展的な学習を行っていました。当日の発表会では、外来生物や魚、鳥、カメ、モクズガニ、水質、石、北川の歴史などの小テーマごとにグループで学習した成果が発表されました。どの発表も突っ込んで

調べた内容がまとめられていて、日頃から環境保全を目指して活動している身にとっては、地域の自然に対する理解者がジワリと広がった印象で、感激深い内容でした。

北山小は東京都内の中でも自然環境がとても恵まれていると思われることから、個々の児童が地域の自然環境を理解し、守ることを継承していくことに期待したいと思います。

## 報告 化成小

### 総合的学習を支援

12月17日、化成小3年生の総合的学習の授業を支援しました。当日は31名の児童を対象に、北山公園と八国山の自然をテーマに解説をしました。内容としては、北山公園で見ることのできる生き物、北山公園の歴史、外来生物の問題点とその捕獲活動、八国山の歴史、雑木林と地域の暮らし、雑木林の植生の遷移、八国山の生き物、北川の魚や東京湾から上ってくる魚やカニなど、幅広い小テーマについて説明をしましたが、児童からはたくさんの質問が次から次へと寄せられ、地域の自然や歴史に対する関心の高さがうかがえました。今回の学習をきっかけとして学習を継続し、3月には学習の成果の発表会を予定していることですが、その発表会が楽しみです。

## 会費納入のお願い

今回、今年の会費について未納の方には振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費の振込をお願いいたします（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。「支援会員（主にカンパで支援していただける方が対象で、2年間で2000円（学生は1000円）」としてご支援をいただくことも大歓迎ですが、現在一般会員（年間3000円）の方々には、引き続き一般会員の区分で継続していただけますと幸いです。振込用紙の該当欄にご記入をお願いいたします。なお、りそな銀行あて送金される場合には、shot-1205@kjc.biglobe.ne.jp 吉田あてご一報いただけますと幸いです。

## 北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』  
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円  
新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』  
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。  
A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の  
生き物観察ガイド』  
A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。  
NEW! 『北川・八国山・北山公園  
いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。  
北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000円  
支援会員：2年間で 2000円  
学生は2年間で 1000円  
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先  
〔郵便振替 00120-6-104476〕  
〔りそな銀行東村山支店  
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会  
●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 いきもの講座 100回 (=20年分) 記念で特集をと思っていましたが、この秋は力尽きて何もできずじまい。連載の筆者のみなさんごめんなさい。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会  
連絡アドレス  
CZT12221@nifty.ne.jp

